

3月20日(金)

10:00 御山でのお勤め(御山、蓮如上人御影、法要要期、別院職員)

11:15 永代経法要(中堂)

14:00 彼岸会法要(本堂)

本願寺吉崎別院

春永代経 彼岸会法要

本願寺吉崎別院 (吉崎西別院)

〒922-0679 福井県あわら市吉崎1-201

電話/FAX: 0776-75-1903

【布教】別院職員

彼岸会法要 (14時〜本堂)

永代経法要 (11時15分〜中宗堂)

※雨天時は吉崎東別院本堂

【期日】3月20日(金)

御山法要 (10時〜御山蓮如上人銅像前)

※雨天時は吉崎東別院本堂

永代経法要 (11時15分〜中宗堂)

彼岸会法要 (14時〜本堂)

【布教】別院職員

春分の日にあわせて、春季彼岸会・永代経法要をお勤めいたします。永代経法要は午前中、彼岸会は午後からの法要となります。また、「御山」蓮如上人銅像前でも東西吉崎別院合同でのお彼岸の法要がお勤めされます。御山は河津桜の満開を迎えていることでしょうか。道の駅でのお買い物も楽しみつつ、ゆったり賑々しくお参りください。

春季彼岸会・永代経のご案内



【NO.9】2026年春
本願寺吉崎別院だより よっさきさん

発行

本願寺吉崎別院

〒922-0679
福井県あわら市吉崎1-201
電話/FAX: 0776-75-1903

4月27日月から 5月1日金迄

吉崎別院本堂 全日アサヒヒル二時
中宗堂 本堂での法要前

御忌法要

布教 吉崎西別院管轄区域
石川郡区三南郷
福井県区北郷
福井市北郷

4月27日(月)より5月1日(金)まで
各日ともに日中(午前10時)・速夜(午後2時)の2座
※本堂での法要45分前(日)よって前後します(に、蓮如上人のご眞影をご安置する中宗堂にて、お勤めされます。

吉崎別院最大のご仏事「蓮如上人御忌法要」を今年も 左記の通り厳修いたします。

「年に一度は吉崎へ」を合言葉に、お誘いあわせ賑々しくお参りくださいますよう、ご案内申し上げます。皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。

【期日】4月27日(月)より5月1日(金)まで
各日ともに日中(午前10時)・速夜(午後2時)の2座

※本堂での法要45分前(日)よって前後します(に、蓮如上人のご眞影をご安置する中宗堂にて、お勤めされます。



蓮如上人御忌法要のご案内

蓮如さんの吉崎西別院讃仰会

住 所: 〒922-0679 福井県あわら市吉崎1-201 本願寺吉崎別院内
電話/FAX: 0776-75-1903 メール: info@rennyo-sangou.com
ウェブサイト: https://rennyo-sangou.com
銀行口座: 福井銀行 大聖寺支店 普通口座 531-6033589
口座名 蓮如さんごう (レンニョサンゴウ)

地震に強い
金属屋根の北川

KITAGAWA

〒918-8543
福井県福井市問屋町2-65
☎ 0776-22-2694
[FAX] 0776-21-8186

(有)庭研ぶくい

〒910-2161
福井県福井市脇三ヶ町23-2
電話・fax 0776-41-3901

「念力門法要」4月27日(月) 日中(午前)

本山からいただいた「念力門」を250kmの道のりを運ばれた方々のご功勞を偲び、念力門下の顕彰碑前で執り行われます。

「朝倉公法要」4月27日(月) 速夜(午後)

吉崎御坊の建立にあたって、ご功績のあった戦国大名朝倉孝景公を偲ぶ法要です。本堂での法要後、引き続き執り行われます。

「本光坊法要」4月28日(火) 速夜(午後)

お聖教を命をかけて守った本光坊了願様の功績を偲ぶ法要です。本堂での法要後、引き続き足羽組本向寺様により執り行われます。

「御山法要」4月29日(水) 日中(午前)

蓮如上人ご滞在の当時を偲び、旧跡地「御山」蓮如上人銅像前で東西別院合同で法要が執り行われます。

御忌法要期間中の特別

蓮如上人のお言葉より

仏法には無我と仰せられ候う。われと思ふことはいささかあるまじきことなり。われはわろしとおもう人なし、これ（親鸞）聖人の御罰なりと、御詞候う。他力の御すすめにて候う。ゆめゆめわれといふことはあるまじく候う。

（蓮如上人御一代記聞書 第八〇条）

【現代語訳】「仏法では、無我が説かれている。われこそはという思いが少しでもあつてはならないのである。ところが、自分が悪いと思つている人はいない。これは親鸞聖人からお叱りを受けた人のすげである」と、蓮如上人は仰せになりました。仏のお力によって信心を得させていただくのです。われこそはという思いが決してあつてはならないのです。

仏教の無我

仏教の長い歴史をひもとけば、それは「無我」という真理をめぐる探求の歴史であつたといえます。仏教の基礎学問でありながら非常に難解なことで知られる、天親菩薩の『阿毘達磨俱舍論』という膨大な書物の眼目もまた「諸法無我」を解き明かすことにあつたと言われます。龍樹菩薩をはじめとする大乘仏教の高僧たちが「空」の論理を深めてきたのも、すべてはこの「無我」という、私たちの執着の根源を解き明かすためでした。

蓮如上人の無我

しかし、こうした深遠な思想史の積み重ねの中で、蓮如上人は「無我」を、あまりにも卑近な言葉で語られます。

「われと思ふことはいささかあるまじきことなり」ともすれば、「滅私奉公」などという言葉に類するかのような道德的な訓戒や修養の言葉に聞こえるかもしれません。

ですが、これこそ蓮如上人のご教化の「分かりやすさ」の發揮なのです。上人の「無我」は、哲学的な概念の平易な解説ではありません。

それは「私の現実」からの出発です。私たちが日々疑いもなく、家族や隣人等との日常の会話などで口にするところの「私」そのものを、時に、人との関わり合いの中で反省の対象ともなるような「私、私が、私の」といった当たり前に意識されている「この私」そのものに直接に焦点をあてて、仏教に引き寄せてくださるのです。

聖人の御罰

そのとき、「われはわろしとおもふ人なし」と示された我執の姿を（親鸞）聖人の御罰」という非常に厳しい言葉で示されます。

「聖人の御罰」とは、親鸞聖人が生涯をかけてお伝えくださった阿彌陀様の他力のお救いに背く、私のはからいの深さを指し示す表現です。また、道德的「滅私」とは違う次元のことわりであることの表現なのだと思います。

これらは同時に、他ならぬこの私のままが、阿彌陀様の大きなお慈悲に照らされた「私」であることに気づいてほしいとの願いが込められたお言葉でもありました。

上人のおっしゃる「無我」とは、我を無くすことではなく、我を振りどころとはしえない身と知らされることでしよう。この「私」が、お念仏によって開かれ見出し出されてくる世界のことなのです。

他力のお勧め

夫婦ゲンカはどちらか「我が我が」とまくしたてるからこそ、犬も食わぬと言われるのかもしれない。思わず知らず我執の闇に生きる「私」と、その「私」にこそかけられている「必ず救う」の阿彌陀様のお慈悲のお誓いを共に見つける心得として「ゆめゆめ我といふことはあるまじく候う」とお示しく下さつてあるのだといただくのです。

上人の「分かりやすさ」のお心が込められた『御文章』によって数多くの念仏者が生み出されてきたことも、あわせて味わいたいところです。市井を生きる凡夫として、「無我」の教え、お念仏の日ぐらしを生き抜いた先輩方のお姿です。

ご懇志のお振替 / お振込

【ゆうちょ銀行からのお振替】

記号・番号：00780-7-4561

【ゆうちょ銀行以外の金融機関】

ゆうちょ銀行 ○七九店〈当座〉
0004561

※ yossaki@mx3.fctv.ne.jp 宛にお名前とご住所のご連絡をお願いいたします。

